

冷却水交換

SM1623696

id011200071300

警告

- ・停止直後のエンジンは高温で火傷のおそれがあるため、作業はエンジン冷間時に行う。

注意

- ・エンジンを破損するおそれがあるため、冷却水は使用環境に合った濃度のものを使用すること。

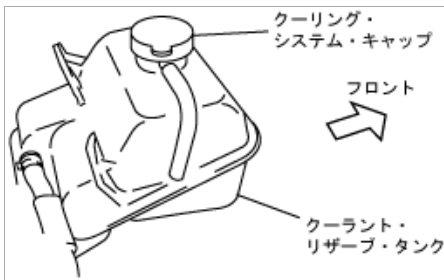
参考

- ・クーリング・システム・キャップまたは、その付近に“FL22”のマークがある場合は、純正ロング・ライフ・クーラント (ゴールド) を使用する。
- ・純正ロング・ライフ・クーラント (ゴールド) は希釈済 (クーラント : 55%、水 : 45%) のため、交換時はそのまま使用する。また、補充時もそのまま補充する。



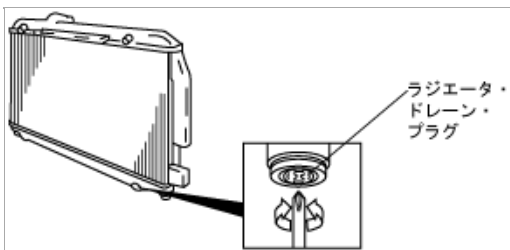
E5U112ZW5010

- 1.クーリング・システム・キャップを取外す。



BHJ0112W007

- 2.ラジエータ・ドレーン・プラグを緩めて冷却水を抜取る。



BHJ0112W008

- 3.冷却水を完全に抜取った後、ラジエータ・ドレーン・プラグを締付ける。

- 4.冷却水をクーラント・リザーブ・タンクのFULLレベルまで注入する。

- 5.クーリング・システム・キャップを取付ける。

- 6.エンジンを始動し、アイドリング状態で暖機する。

注意

- ・水温計が上がり過ぎる場合は、オーバ・ヒートさせないために、エンジンを停止して水温を下げる。

- 7.エンジン暖機後、次の作業を行う。

(1)エンジン回転数を 5分間、約2,500回転に保つ。

(2)エンジン回転数を 5秒間、約3,000回転に保ちアイドリングにもどす。これを4—5回繰り返す。

- 8.エンジンを停止し、冷却水の温度が下がるのを待ち、冷却水量を点検する。冷却水が少なくなっている場合は、4—8項の作業を繰り返し行う。

- 9.各部に水漏れがないか点検する。